

2023年3月期
(2022年4月1日～2023年3月31日)

決算参考資料

2023年5月12日



東証プライム・名証プレミア上場 証券コード：9900

1. 連結対象企業の事業内容	-3-
2. 店舗展開の状況	-5-
3. 2023年3月期 業績概況	-7-
4. 財政・キャッシュフローの概況	-8-
5. 店舗収益構造の改善	-9-
6. 2023年3月期のトピックス	-10-
7. 2024年3月期について	-18-

連結対象企業の事業内容



連結対象子会社一覧

名称	所在地	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
サガミレストランツ株式会社	名古屋市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
味の民芸フードサービス株式会社	立川市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100%	グループの管理業務 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	70,000,000円	100%	食材の仕入・製造業務 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	5,250,000米ドル	100%	海外事業（ASEAN）の統轄
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100%	ベトナム国内における飲食店の経営

店舗展開の状況

	2022年 3月期	2023年3月期			2024年3月期（計画）		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麺処サガミ	132	4	3	133	5	1	137
どんどん庵（FC店舗含む）	32	1	1	32	-	-	32
味の民芸（FC店舗含む）	52	-	1	51	-	1	50
団欒食堂あいそ家	9	-	1	8	-	-	8
長助・二代目長助	3	3	-	6	3	-	9
ぶぶか	2	-	1	1	-	-	1
その他国内店舗（FC店舗含む）	15	-	5	10	-	1	9
海外 ベトナム	3	-	-	3	-	-	3
海外 イタリア（FC店舗）	6	1	1	6	2	-	8
合計	254	9	13	250	10	3	257

◆ 業態毎の店舗展開の詳細は次頁に記載しております。

店舗展開の状況

国内店舗展開

- ◆ 和食麺処サガミ業態
2022年9月に「半田インター店」、12月に「木津川城山台店」、
2023年1月に「長久手店」、3月に「豊山店」を開店いたしました。
2022年5月に「西大津店」、8月に「藤枝店」、10月に「加木屋店」を閉店いたしました。
これにより、当期末の店舗数は133店舗となりました。
- ◆ 味の民芸業態
2022年8月に「西国分寺店」を閉店いたしました。
これにより、当期末の店舗数はFC店舗を含め51店舗となりました。
- ◆ その他業態
2022年5月に「十割そば二代目長助 岐阜岩滝店」、10月に「どんどん庵 一宮尾西店」、
2023年3月に「十割そば二代目長助 稲沢店」「十割そば二代目長助 野田店」
を開店いたしました。
2022年10月に「ごちたく 練馬平和台店」、11月に「ぶぶか 西台店」、
12月に「どんどん庵 飛島店」「ごちたく 守山店」「とと蔵 湘南台店」、
2023年1月に「JINJIN 佐野店」を閉店いたしました。
業態変更に伴い、2022年11月に「かつたに 一宮尾西店」、
2023年2月に「あいそ家 豊山店」を閉店いたしました。

海外店舗展開

- ◆ イタリア
2022年4月に「SAGAMI Bellinzago Lombardo店」をFC店舗として開店いたしました。
2022年8月に「SAGAMI Siena店」を閉店いたしました。

以上により、2023年3月末のグループ店舗数は、国内241店舗、海外9店舗の計250店舗であります。



2023年3月期 業績概況



連結ベースの経営成績

(単位：百万円/円)

	2022年3月期	業績予想 (2023.2.6発表)	2023年3月期	前期差異	計画差異
売上高	21,339	25,500	26,423	5,084	923
営業利益	△620	750	910	1,530	160
経常利益 ※1	2,253	1,430	1,574	△679	144
当期純利益	1,192	980	886	△306	△94
一株あたり 当期純利益	40.46	32.50	29.38	△11.08	△3.12

※1 2022年3月期は営業時間短縮に伴う協力金等収入2,804百万円を含んでおります。
2023年3月期は営業時間短縮に伴う協力金等収入566百万円を含んでおります。

財政・キャッシュフローの概況

連結財政状態

単位 (百万円/%)	2022年3月期	2023年3月期
総資産	24,164	24,156
純資産	15,059	15,936
自己資本比率	62.3	65.9

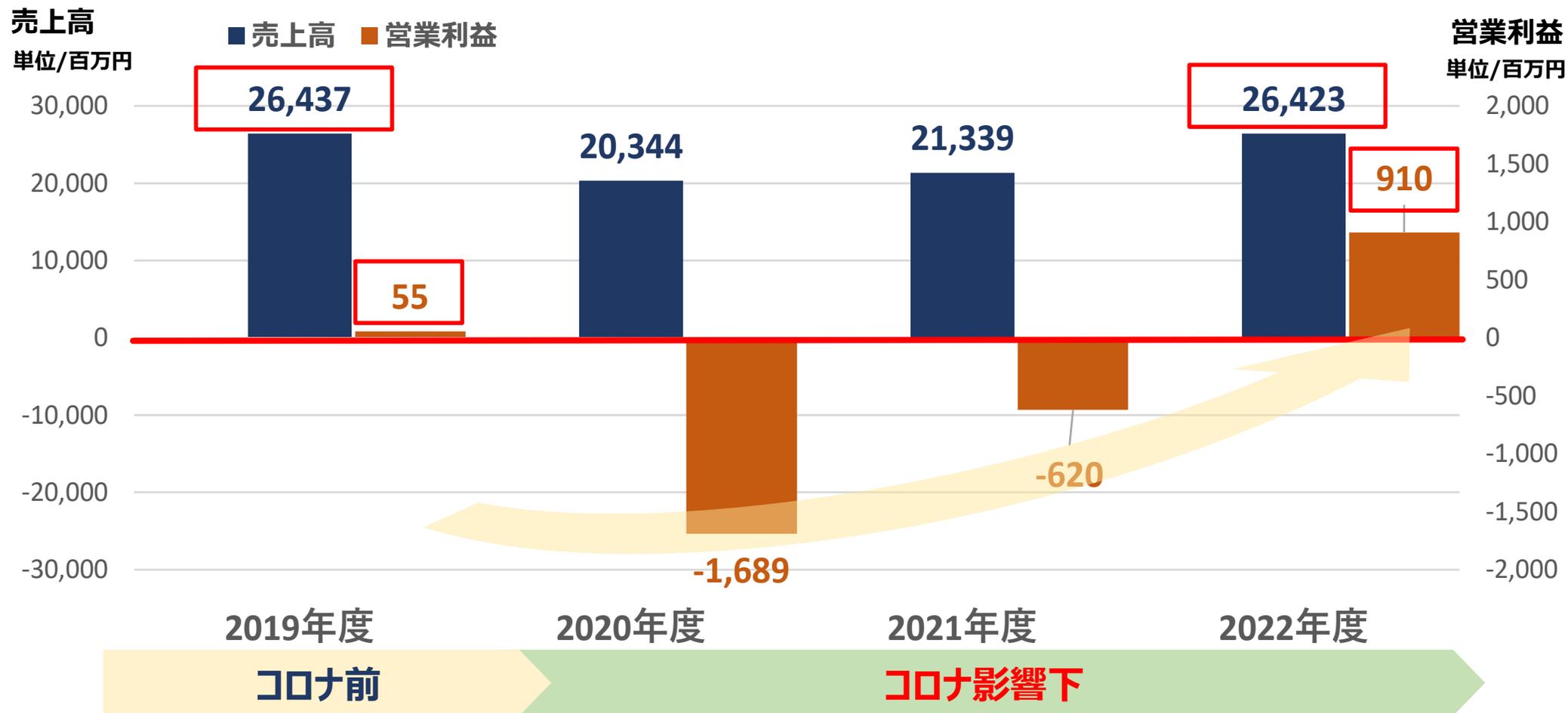
連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2022年3月期	2023年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	3,014	1,725
投資活動によるキャッシュフロー	△708	△1,408
財務活動によるキャッシュフロー	1,354	△1,172

- ◆ 設備投資について
連結設備投資は1,353百万円（2022年3月期実績646百万円）となりました。
- ◆ 減価償却費について
減価償却費は385百万円（2022年3月期実績395百万円）となりました。

店舗収益構造の改善

売上高及び営業利益推移（コロナ前～コロナ影響下）



➤ コロナ前（対2019年度）比、売上高99.9%（▲14百万円）営業利益1,655%（+855百万円）

2023年3月期のトピックス①

サガミホールディングス

- ◆ 全店一斉休業の実施
従業員の働く環境改善の一環として、2022年5月2日及び2023年1月11日に、主力業態である「和食麺処サガミ」、「味の民芸」を始めとしたグループ全店を、一斉休業いたしました。
- ◆ 業績貢献・コロナ慰労金支給
業績への貢献、及び諸物価上昇への対策として慰労金を支給いたしました。
- ◆ CDP※回答
東証プライム上場企業に送付された、CDP「気候変動質問書」への回答を実施し評価Cを獲得しました。
- ◆ 協力購買の取り組み開始 【共創 和や会（きょうそう なごやかかい）】
資源価格高騰に伴う対応策として、2022年10月1日より消耗品などの協力購買の取り組みを開始いたしました。
今後も協業を通じてお客様への提供価値及び企業価値の向上に努めてまいります。



※CDPとは、イギリスで設立された国際的な環境非営利団体（NGO）で、正式名称は、Carbon Disclosure Projectです。

サガミホールディングス

◆ 経営新体制について

コロナ禍を契機に継続的に取り組んできた、改善・改革を更に推し進め、経営陣の若返りによる企業の活性化、企業価値の向上及び当社グループの持続的な発展を図ることを目的とし、代表取締役の異動、及び新規取締役候補者の選任を行いました。（第53期定時株主総会での承認後決定）
新経営陣の下、基本的価値である「おいしさ・おもてなし」に磨きをかけ、さらに企業価値の向上に取り組んでまいります。

◆ 特別配当による増配について

コロナ禍以前から、様々な取り組みを行った結果、コロナ以前を超える利益体質へと経営改善をすることができました。経営新体制のもと、更なる企業価値の向上、及び当社グループの持続的な発展への決意として、1株当たり普通配当5円に加え、2円の特別配当を実施し、1株当たり期末配当7円とさせていただきます。
なお、本件に関しましては、2023年6月下旬開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

◆ サステナビリティ推進室設置について

従来「CSR活動」として行ってきた活動を発展させ、ESG（環境・社会・ガバナンス）の3つの観点から、長期的な視野を持って持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいりましたが、サステナビリティについての考え方を推進するため、新たに専門組織となるサステナビリティ推進室を設置し、取り組みを更に強化いたします。

2023年3月期のトピックス③

サガミレストランツ（サガミ事業本部）

サガミ業態について

- ◆ モーニング営業実施店舗拡大
モーニング営業店舗を愛知県48店舗、岐阜県20店舗、三重県の一部6店舗、静岡県・滋賀県・兵庫県各1店舗に拡大し、計77店舗での展開といたしました。今後も地域の特性に合わせた取り組みを進めてまいります。
- ◆ サガミ公式アプリ開始
9月26日よりサガミの公式アプリでのサービスを開始いたしました。店舗の席予約、お持ち帰りのご注文や、お得なクーポン情報などを提供しております。
- ◆ 冷凍自動販売機設置
お客様のニーズの変化に柔軟に対応するため、お持ち帰り商品の店内販売に加え、24時間購入可能な冷凍自動販売機を店舗前に設置いたしました。現在、6店舗に設置しており、大変ご好評をいただいております。今後も設置店舗の拡大及び販売商品の拡充を行ってまいります。
- ◆ スマート化プロジェクト
ロボティクス・DX・IT化を進めることによる生産性向上に取り組んでおります。効率化機器として、洗米機・グラス洗浄機や待合システムを導入いたしました。また一部店舗では、セルフレジ、配膳ロボ、デジタルサイネージなどを試験導入いたしました。



2023年3月期のトピックス④

サガミレストランツ（サガミ事業本部）

- ◆ 特別な日（ハレの日）のおもてなし実施
「ちょっといい日をもっといい日に」をテーマとした、ハレの日施策の強化に取り組みました。特別な日のおもてなしの取り組みとして百日祝い料理「お食い初め膳」の販売を全店舗で実施いたしました。
更に一部店舗においては一歳のお祝いセット（一升米）としてお祝い膳を販売いたしました。
- ◆ 石川県輪島市とのコラボレーションメニューを販売
一部限定店舗にて、生産地応援メニューとして、石川県輪島市とコラボレーションした、「輪島天然ふぐ天みそ煮込」を販売いたしました。
- ◆ おもてなし接客コンテストを開催
「和食麺処サガミ」及び「団欒食堂あいそ家」の全140店舗を対象に、お客様投票で“接客おもてなし名人”を決定するコンテストを開催いたしました。接客を見つめ直す機会としてお客様起点で行動できる人材の育成を目指すとともに、ご来店のお客様に笑顔でお食事をしていただきたいという思いから実施をいたしました。
- ◆ グループMS成果発表会を開催
グループ国内店舗を対象とし、MS成果発表会を開催いたしました。
年3回実施する覆面調査の点数、及び業績改善活動内容等の総合評価により決定した、各ブロックの代表店舗によるプレゼンテーションを実施し、成績上位店舗を表彰いたしました。
改善活動の共有機会を通じて、引き続き「顧客」「従業員」双方の満足度向上に努めてまいります。
※MS=ミステリーショッピング（覆面調査）



2023年3月期のトピックス⑤

サガミレストランツ（DDA事業本部）

どんどん庵業態について

- ◆ どんどん庵業態ではコロナ禍での販促企画実施を考慮し、例年年3回（4月・10月・1月）実施していましたが恒例企画の『どんどん祭』を中止し、ご来店が分散できる『GO!どんどん庵クーポンキャンペーン』を3回（5月・10月・1月）実施いたしました。
次回以降の大型販促につきましては、コロナの規制緩和に伴い集中型の『どんどん祭』を開催する事が決定しております。

また、麺のファストフード業態として、来店頻度の高いお客様に飽きさせない商品開発を心掛け、年11回の料理フェアを開催いたしました。

長助業態について

- ◆ 十割そば特有の香りやのど越しの良いそばをセルフサービス形態を取り入れることによってリーズナブルな価格で提供し、お客様に好評をいただいております。
そばの製粉から製麺まで一貫して自社にて実施しております。

2023年3月、愛知県稲沢市に『二代目長助稲沢店』・千葉県野田市に『二代目長助野田店』（味の民芸フードサービスにより運営）がオープンし、6店舗体制となりました。

↓二代目長助稲沢店の
看板メニュー



↓二代目長助野田店の
看板メニュー



2023年3月期のトピックス⑥

味の民芸フードサービス

味の民芸業態について

- ◆ お客様感謝企画として2022年6月に2回、計6日間『手延べうどん 食べ放題』を3年ぶりに開催いたしました。今回は「天ぷら付き手延べうどん食べ放題」に加え、大海老を使用した「大海老天ぷら付き手延べうどん食べ放題」の2種類を販売いたしました。また、LINE会員様向けに店内飲食で使用できるお得なクーポンを配信いたしました。
- ◆ 2022年12月には数量限定で、味の民芸の人気テイクアウト商品と店舗で利用できるクーポンが付いた『福袋』の販売を実施いたしました。お客様にご好評いただき、全店で完売いたしました。
- ◆ 2023年3月には春の新メニュー入れ替えに伴い、『春のごちそう祭り』を開催いたしました。人気の手羽先をお値打ち価格で提供いたしました。
- ◆ SNSを活用した販売促進の実施
味の民芸では従来の携帯会員から、利用者層が広く利便性の高い『LINE』での販促活動に切り替え、『LINE公式アカウント』を全店で開設いたしました。定期的にフェアメニューの告知や、お得なクーポンを配信し、2023年3月現在で全店のお友達数は13万人を超えました。
- ◆ 店舗への設備投資として、作業の効率化および、新たなおもてなしへの変化を目的とし、タブレット型セルフオーダーシステムの導入を進めてまいりました。今年度は、FC3店舗を含む全店での設置が完了いたしました。今年度もDX化を推進し、生産性の向上に取り組んでまいります。



2023年3月期のトピックス⑦

味の民芸フードサービス

味の民芸業態について

◆ ロカボ商品について

味の民芸では2022年3月より販売開始した『からだに美味しい』メニューを継続して販売しております。

2023年3月のメニュー改定においては低糖質メニューに大豆ミート(代替肉)を使用した、「大豆ミートのキーマカレーうどん」および、「大豆ミート 彩り野菜の麻婆丼ランチ」の2商品を販売しております。

※株式会社サガミホールディングスは2022年3月に、
一般社団法人 食・楽・健康協会に入会いたしました。

小型業態について

◆ セルフサービス業態の『十割そば 二代目長助野田店』（千葉県）が関東初進出し、3月31日にグランドオープンいたしました。自社製粉のそば粉を使用し、そば粉本来の味と香りが特徴の茹でたて「十割そば」と、独自配合の衣を使用した揚げたてサクサクの「天ぷら」が楽しめる業態となっております。

オープン当初より計画を大幅に超えるご来店があり、お客様にご好評をいただいております。

長助人気メニューの「鴨つけそば」をはじめ、なごやめしの「天むす」や、サクサク衣の天ぷらもご用意しております。



2023年3月期のトピックス⑧

サガミインターナショナル

ベトナム事業について

- ◆ ベトナムでは、「水山」業態を展開しております。7月にベトナム進出6周年をむかえ、コロナ以降の経済回復も著しく、直近ではコロナ禍前の売上高を上回る推移となっております。
- ◆ ベトナム事業の展開の強化に向け、フランチャイズでの店舗網拡大を視野に入れ、ベトナム国内におけるパートナーシップの構築を進めております。

イタリア事業について

- ◆ 2022年4月に「SAGAMI Bellinzago Lombardo店」をFC店舗として開店し、6店舗体制となりました。
「Bellinzago Lombardo店」はミラノ市郊外のショッピングモール内に立地し、地域の方々を中心に多くのお客様にご来店いただいております。
- ◆ 既存店の売上については好調を維持し、コロナ禍以前を上回る趨勢となっております。
- ◆ TikTok や Instagram の自社アカウントを通じた動画によるプロモーションを開始した他、インフルエンサー・YouTuber の取材を受ける等、SNSによる情報発信を積極的に行い、多くの反響を得ております。
引き続き、和食文化をイタリアのお客様へ届けられるよう、取り組みを継続してまいります。



2024年3月期について

連結ベースの業績予想

単位（百万円）	2023年3月期	2024年3月期	差額
売上高	26,423	26,200	△223
営業利益	910	800	△110
経常利益 ※1	1,574	820	△754
親会社株主に帰属する 当期純利益	886	400	△486

※1 2023年3月期は営業時間短縮に伴う協力金等収入566百万円を含んでおります。

2024年3月期について

◆ 売上高

売上高に対する新型コロナウイルス感染症影響は減少傾向であり、人流は一定程度回復すると予想。
一方、消費動向としては物価上昇による生活防衛意識の高まり等が懸念されることから、前期水準並みの売上高になると予測しております。

◆ 営業利益・当期純利益

各種コスト増については、粗利改善及び企業努力により吸収を目指す。
前期比減収にはなるが、従業員の給与水準改善（2023年4月 約3.3%↑）を実施。従業員モチベーションUPが収益向上への原動力となるため、先行投資と考えております。今後も従業員の給与待遇については、持続的に改善を図ってまいります。

ディスクロージャーポリシー（Disclosure Policy）



（1）基本方針

サガミグループは、『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～』という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

（2）情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム（TDnet：Timely Disclosure network）に登録し提供しています。

TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。

ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れる場合がございます。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

（3）業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実態に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

（4）沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算発表日の一カ月間を「沈黙期間」としております。

この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

（5）ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任（CSR）」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。